

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	352.4	家族介護者ヘルパー受講支援	会計	01	一般会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	健康福祉部 高齢障害課		項	02	老人福祉費
作成者氏名	榎 光裕	連絡先	目	01	老人福祉総務費
		22-9657	細目	102	在宅老人援護事業
			細々目	06	介護予防・生活支援事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を) 高齢者等を介護する家族であってホームヘルパーの受講を希望する者	成果(どうなるのか) ホームヘルパーの技術の取得により、介護能力が高まり、高齢者等の福祉向上が図れる			
本年度事業内容	家族介護者ヘルパー受講支援事業 高齢者等を介護する家族であってホームヘルパーの受講を希望する者に対して、ヘルパーの受講費を助成する。 助成額：2級 30,000円 3級 15,000円				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市家族介護支援事業実施要綱

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳(千円)	事業費(B)	60	45	45
	委託料	60	45	45
	その他			
	合計(A+B)	780	765	765
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	780	765	765	
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
受講支援利用者数	人	2	5	10			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用者数	利用者数を指標とする	人	2 目標 (10)	5	10
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

・従前は、助成額が2級15,000円、3級5,000円であった。昨今の在宅訪問介護サービスのニーズは高く、本制度利用を促進し、地域の介護力向上に結びつける。

評価	必要性	3	本制度の周知に努めることで、ヘルパー資格をもつ介護者が増加促進につながることから、必要である。	総合評価 C
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		